

第49期 決算説明会 (2017年3月期)

2017年5月25日

加賀電子株式会社
(証券コード:8154)

- (1)2017年3月期連結業績 …… P.4
- (2)2018年3月期連結業績予想 …… P.11
- (3)加賀電子グループの …… P.16
中長期成長戦略への取り組み

1

2017年3月期実績

- ✓ 前年比減収減益であったが、親会社株主に帰属する当期純利益は4期連続の増益。

2

2018年3月期予想

- ✓ 売上高は前年比増収を見込む。
- ✓ 営業利益、経常利益は、収益力を維持。

3

中長期戦略への取り組み

- ✓ 収益力強化に加えて、売上成長力の向上を図る。
- ✓ グローバル拠点展開を加速させ、EMSビジネスを拡大。

2017年3月期 連結業績

■当期業績(過去2期比較)

(単位:百万円)

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	前年比
売上高	255,143	245,387	227,209	△18,178
売上総利益	32,738	33,648	31,225	△2,423
利益率(%)	12.8%	13.7%	13.7%	—
販売費及び一般管理費	26,376	25,859	24,346	△1,513
営業利益	6,362	7,788	6,879	△909
経常利益	7,664	7,908	7,343	△565
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,416	5,437	6,975	1,538

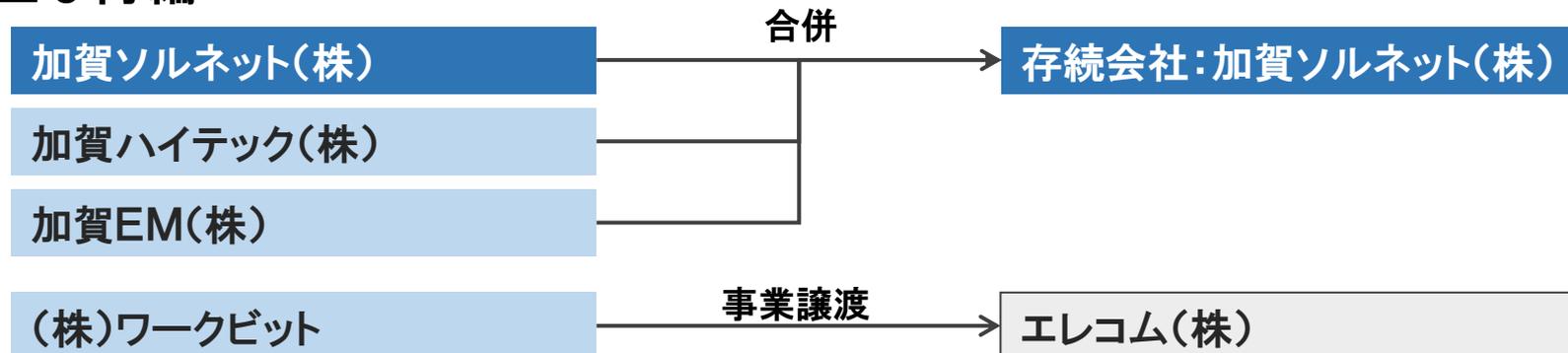
■企業集団の状況

	2016/3期	2017/3期	
			前年比
連結子会社	49社	45社	4社減少
うち、国内	22社	17社	5社減少
うち、海外	27社	28社	1社増加

新規:2社 TAXAN MEXICO S.A de C.V. (株)サンコーエンジニアリング

除外:6社 加賀ハイテック(株) 加賀エデュケーショナルマーケティング(株) 他4社

■主な再編



事業再編等による税負担軽減効果:約1,400百万円

■当期業績/事業部門別(前年、Q2時予想比較)

(単位:百万円)

		2016/3期	2017/3期 (Q2時予想)	2017/3期		増減の主なポイント	
				前年比	Q2時予想比		
電子部品	売上高	189,486	176,000	171,227	△18,259	△4,773	遊技機器向けビジネスの低迷および半導体メーカーの代理店政策の変更による国内半導体の取扱高は減少。販売管理費を抑制し利益確保。
	セグメント利益	6,515	4,350	4,917	△1,598	567	
情報機器	売上高	40,880	41,000	42,547	1,667	1,547	住宅向け関連商材の販売増加およびパソコンやその他コンシューマ向け商品の取扱高が増加。グループ会社再編による経営の効率化を図り利益率向上。
	セグメント利益	811	900	1,491	680	591	
ソフトウェア	売上高	2,897	3,000	3,159	262	159	アニメーションのCG制作や各種ソフトの開発に注力したものの利益率低下。
	セグメント利益	695	630	528	△167	△102	
その他	売上高	12,123	10,000	10,274	△1,849	274	国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が消費の落ち込みにより低迷。
	セグメント利益	△343	△180	△212	131	△32	
計		245,387	230,000	227,209	△18,178	△2,791	※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。
		7,788	5,700	6,879	△909	1,179	

■地域別売上高実績(前年、Q2時予想比較)

(単位:百万円)

	2016/3期		2017/3期 (Q2時予想)		2017/3期				増減の主なポイント
	売上高		売上高		売上高		前年比	Q2時予想比	
日本	167,914	69%	156,000	68%	151,912	67%	△16,002	△4,088	国内の遊技機器向け電子部品・半導体の販売減少や半導体商流変更による取扱高減少など。
北米	5,840	2%	5,600	2%	5,995	3%	155	395	
欧州	2,662	1%	2,400	1%	2,518	1%	△144	118	
東アジア	68,970	28%	66,000	29%	66,783	29%	△2,187	783	
計	245,387	100%	230,000	100%	227,209	100%	△18,178	△2,791	

■貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	2015/3末	2016/3末	2017/3末	前年比
流動資産	104,424	101,961	103,684	1,723
現金及び預金	18,130	22,516	26,423	3,907
受取手形・売掛金 ^(※)	58,167	54,795	52,009	△2,787
棚卸資産	22,703	19,175	19,325	150
その他	5,422	5,473	5,925	453
固定資産	23,524	22,319	22,067	△252
有形固定資産	12,725	12,058	11,745	△313
無形固定資産	1,131	1,003	841	△162
投資等	9,667	9,257	9,479	222
資産合計	127,948	124,281	125,751	1,470

	2015/3末	2016/3末	2017/3末	前年比
流動負債	54,612	51,169	50,242	△927
支払手形・買掛金	40,543	36,858	37,553	695
短期借入金	5,925	6,295	4,883	△1,412
その他	8,142	8,015	7,806	△209
固定負債	13,733	11,303	9,576	△1,727
長期借入金	8,253	6,007	4,603	△1,404
その他	5,480	5,295	4,973	△322
負債合計	68,345	62,472	59,819	△2,653
株主資本	56,538	60,702	64,481	3,779
資本金	12,133	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	13,912	0
利益剰余金	31,029	35,195	40,476	5,281
自己株式	△537	△539	△2,040	△1,501
評価・換算差額	3,026	1,061	1,391	330
非支配株主持分	38	44	59	15
純資産合計	59,603	61,808	65,932	4,124
負債・純資産合計	127,948	124,281	125,751	1,470

(※)受取手形及び売掛金には電子記録債権が含まれております。

■連結キャッシュ・フロー計算書の比較

(単位:百万円)

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,127	9,546	10,746	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,465	△1,263	△258	1,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,431	△3,067	△6,118	△3,051
現金等の期首残高	13,361	17,569	21,879	4,310
現金等の期末残高	17,569	21,879	26,021	4,142

増減の主なポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フロー:税金等調整前当期純利益の計上。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー:有形固定資産の取得。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー:長期借入金の返済と配当金の支払いおよび自己株式の取得。

2018年3月期 連結業績予想

■通期連結業績予想

連結損益計算書比較(2017年3月期実績⇒2018年3月期予想)

(単位:百万円)

	2017/3期 (実績)	2018/3期 (予想)	前年比
売上高	227,209	230,000	2,791
売上総利益	31,225	31,500	275
利益率(%)	13.7%	13.7%	—
販売費及び一般管理費	24,346	24,500	154
営業利益	6,879	7,000	121
経常利益	7,343	7,500	157
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,975	5,500	△1,475

■ROE予想(前期比較)

(単位:円)

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	前年比
			(予想)	
1株当たり当期純利益 (EPS)	192.43	249.43	200.47	△48.96
1株当たり年間配当	55	60	60	±0
普通配当	40	40	60	+20
特別配当	15	20	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	9.0%	10.9%	8.1%	△2.8%

■ 連結事業部門別業績予想

(単位:百万円)

		2017/3期	2018/3期 (予想)	前年比
電子部品	売上高	171,227	175,000	3,773
	セグメント利益	4,917	5,350	433
情報機器	売上高	42,547	42,000	△547
	セグメント利益	1,491	1,400	△91
ソフトウェア	売上高	3,159	3,000	△159
	セグメント利益	528	450	△78
その他	売上高	10,274	10,000	△274
	セグメント利益	△212	△200	12
計		227,209	230,000	2,791
		6,879	7,000	121

※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

■地域別売上高実績予想

(単位:百万円)

	2017/3期		2018/3期(予想)		
	売上高		売上高		前年比
日本	151,912	67%	152,000	66%	88
北米	5,995	3%	5,500	3%	△495
欧州	2,518	1%	2,500	1%	△18
東アジア	66,783	29%	70,000	30%	3,217
計	227,209	100%	230,000	100%	2,791

加賀電子グループの 中長期成長戦略への取り組み

中長期成長戦略への取り組み: 中期経営計画2018

中期経営計画2018: **経常利益100億円**実現のための計画

	2015年3月期 実績		2019年3月期 計画
売上高	2,551億円	➔	2,900 億円
経常利益	76億円	➔	100 億円
ROE	7.8%	➔	8%以上

(1) 収益基盤の強化

- ✓ 利益重視経営の確立
- ✓ “次世代の加賀電子”として飛躍の準備
- ✓ わが国業界No.1の実現、そして**世界に通用する企業**として持続的成長を狙う

(2) 新規事業の創出

(3) 経営基盤の強化

(1)エレクトロニクス業界の動向

- ✓ 日系大手メーカーの再編が加速
- ✓ 車載、医療分野のエレクトロニクス化が加速
- ✓ IoT、ビッグデータ、人工知能など新分野の台頭

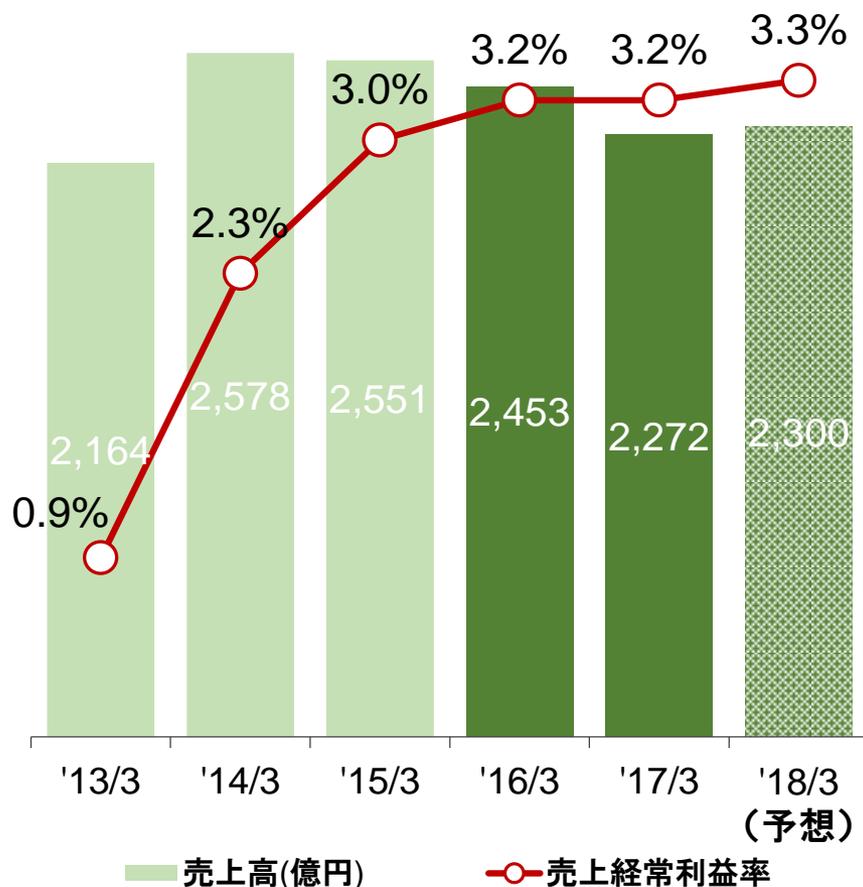
(2)エレクトロニクス商社の現状

- ✓ 同業他社との競争激化や急激な為替相場の変動
- ✓ 各種メーカーの生産調整などが業績に影響
- ✓ 多くの企業が前年比減収減益

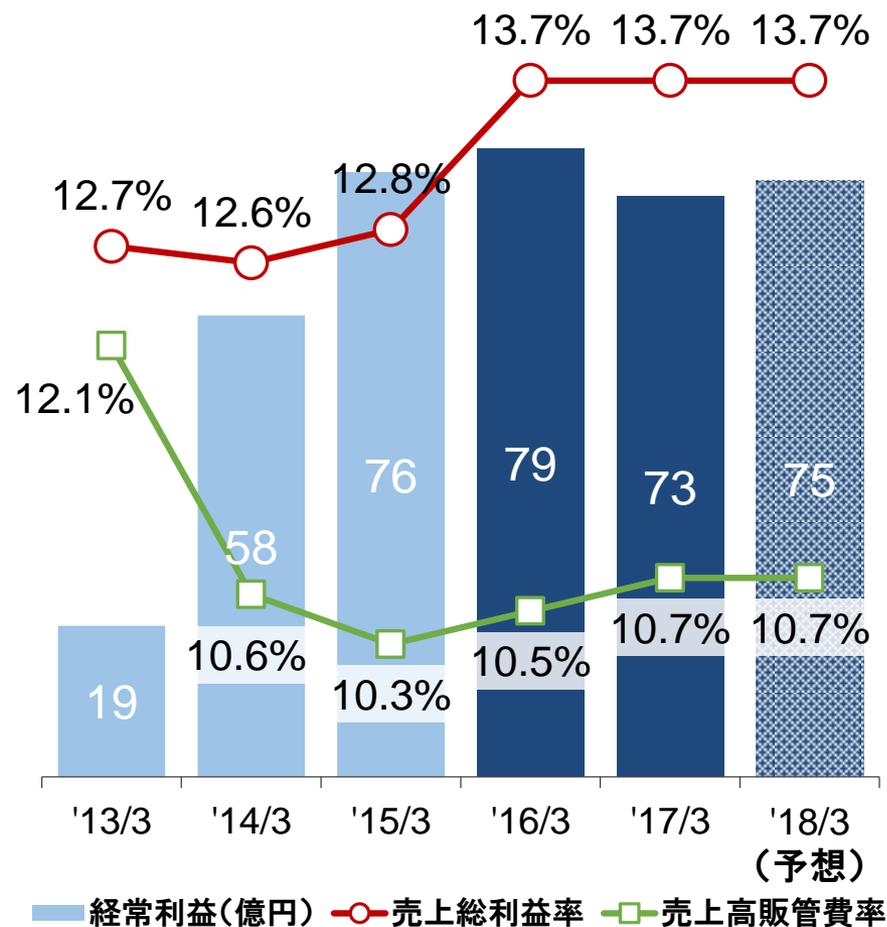
中期経営計画2018のレビュー: 経営成績

収益性強化を推進、売上高利益率が上昇、利益ドライバーに

売上高・売上高経常利益率

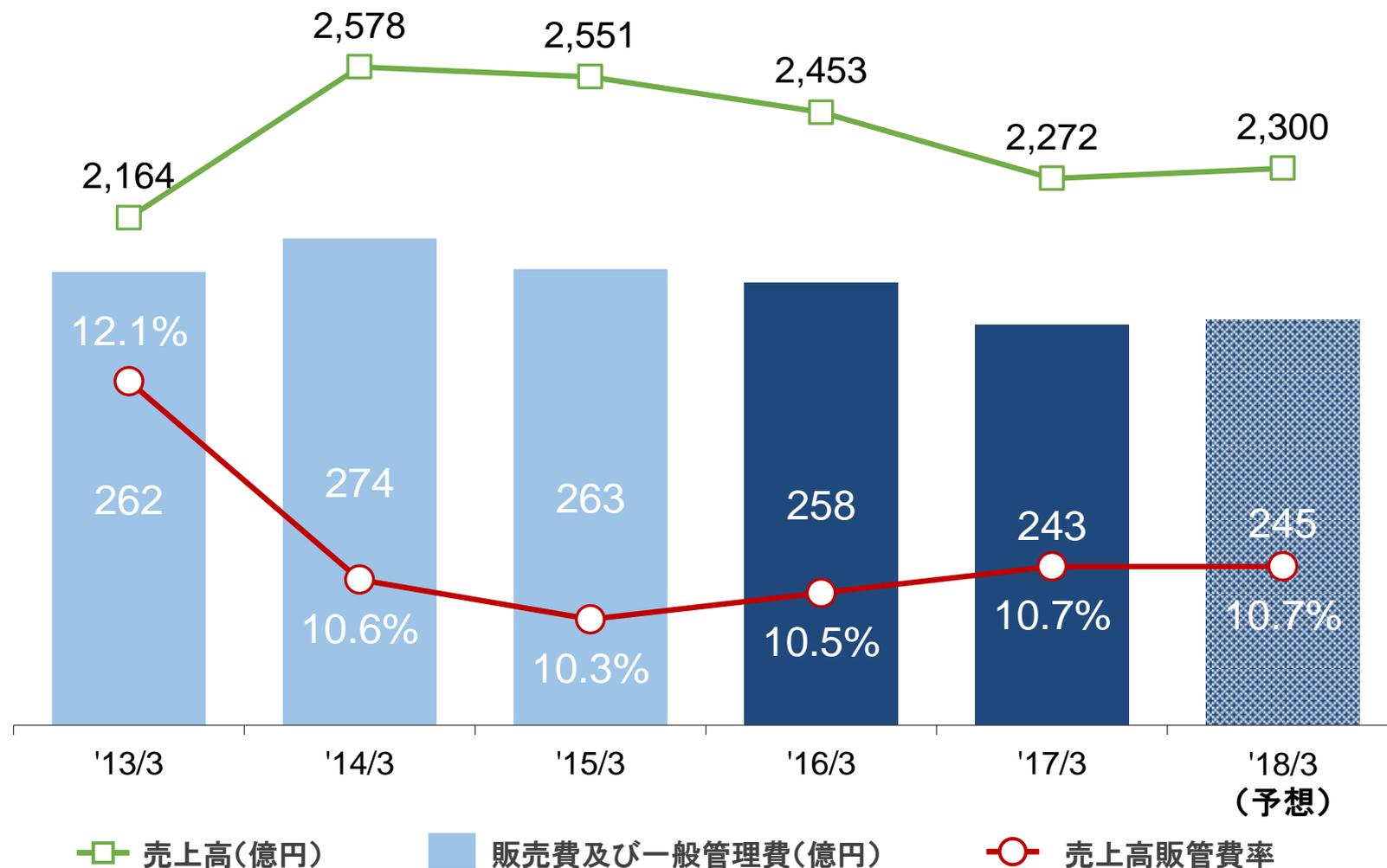


経常利益・売上総利益率・売上高販管費率



中期経営計画2018のレビュー: 販管費推移

販管費総額は **3期連続の減少**、18/3期は増加抑制の方針



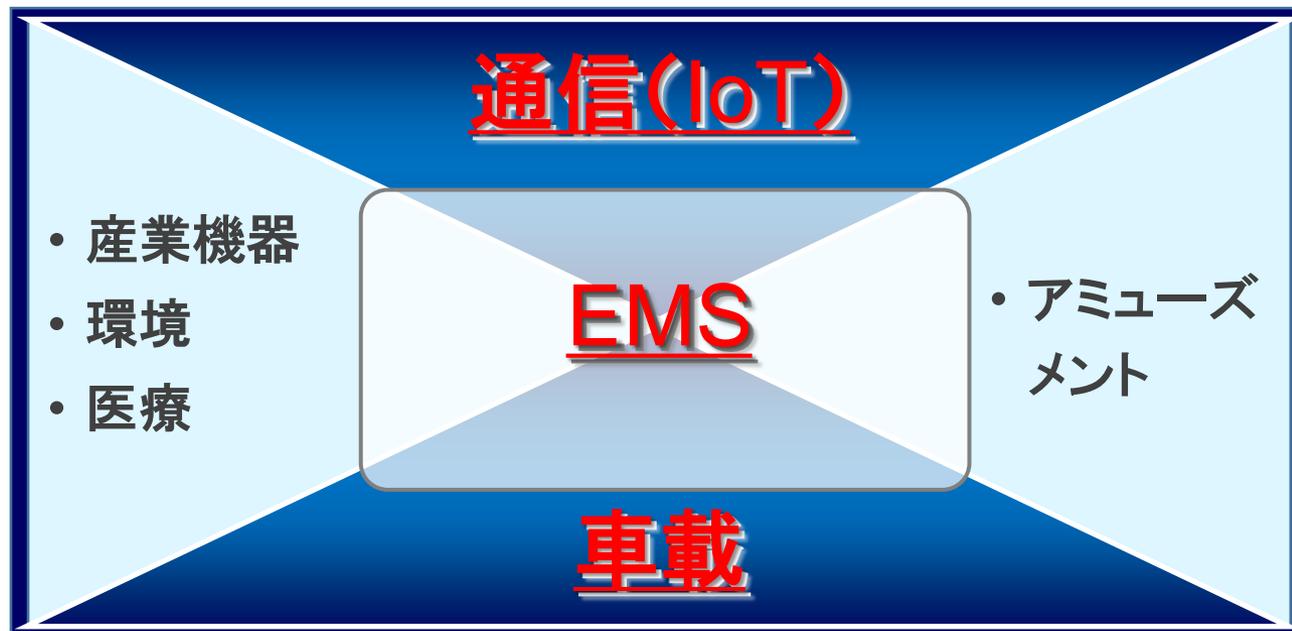
中期経営計画2018のレビュー:次なるステージに向けて

次なるステージ:更なる収益性強化と同時に**売上成長力**の向上

加賀電子グループ5つの**成長キーワード**

M&A推進

ベンチャー投資



加賀電子グループの EMSビジネス

加賀電子グループ EMSの特徴 ①

製造受託にとどまらない、販売後の**アフターサービス**まで行う

提案力

企画・設計・開発



部品調達・
キットニング



EMS・製造受託



販売・
ディストリビューション



サポート力

サポートサービス



ワンストップサービス

・トータルサポート
が可能な技術・
開発力

- ・加賀電子
- ・加賀デバイス
- ・加賀アミューズメント
- ・加賀ソルネット
- ・デジタル・メディア・ラボ

・創業から培った
部品調達力

- ・加賀電子
- ・加賀テック
- ・加賀デバイス
- ・イー・ディーデバイス
- ・加賀電子(大連)
- ・KAGA(台湾)
- ・KAGA(SINGAPORE)
- ・KAGA(KOREA)
- ・KAGA(USA)

・他社にはない
柔軟な製造力

- ・加賀電子
- ・加賀コンポーネント
- ・加賀アミューズメント
- ・マイクロソリューション
- ・KAGA(H.K.)
- ・加賀電子(上海)
- ・KAGA(THAILAND)
- ・KDTEC
- ・TAXAN MEXICO

・豊富な販売チャ
ネルを活用した
販売力

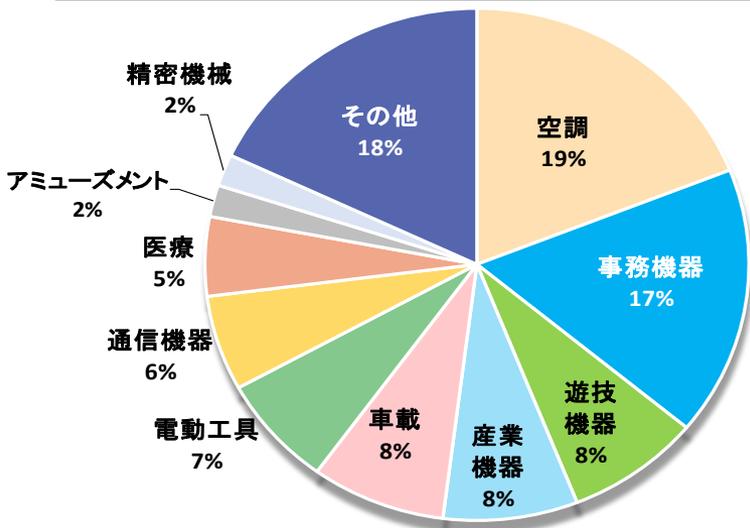
- ・加賀電子
- ・加賀ソルネット
- ・加賀アミューズメント
- ・マイクロソリューション

・販売後のアフター
サービスおよび
コールセンター機能

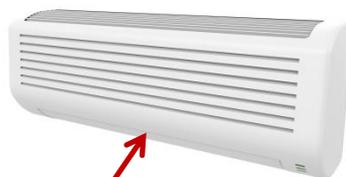
- ・加賀テクノサービス
- ・マイクロソリューション
- ・サンコーエンジニアリング

あらゆる製品へのグローバル対応

グループEMS売上構成(2017年3月期実績)



空調



エアコン向け基板

事務機器



複合機向け基板

産業機器



サーボアンプ向け基板



サーボアンプ
/サーボモータ

車載



ACインバーター



LEDヘッドランプ

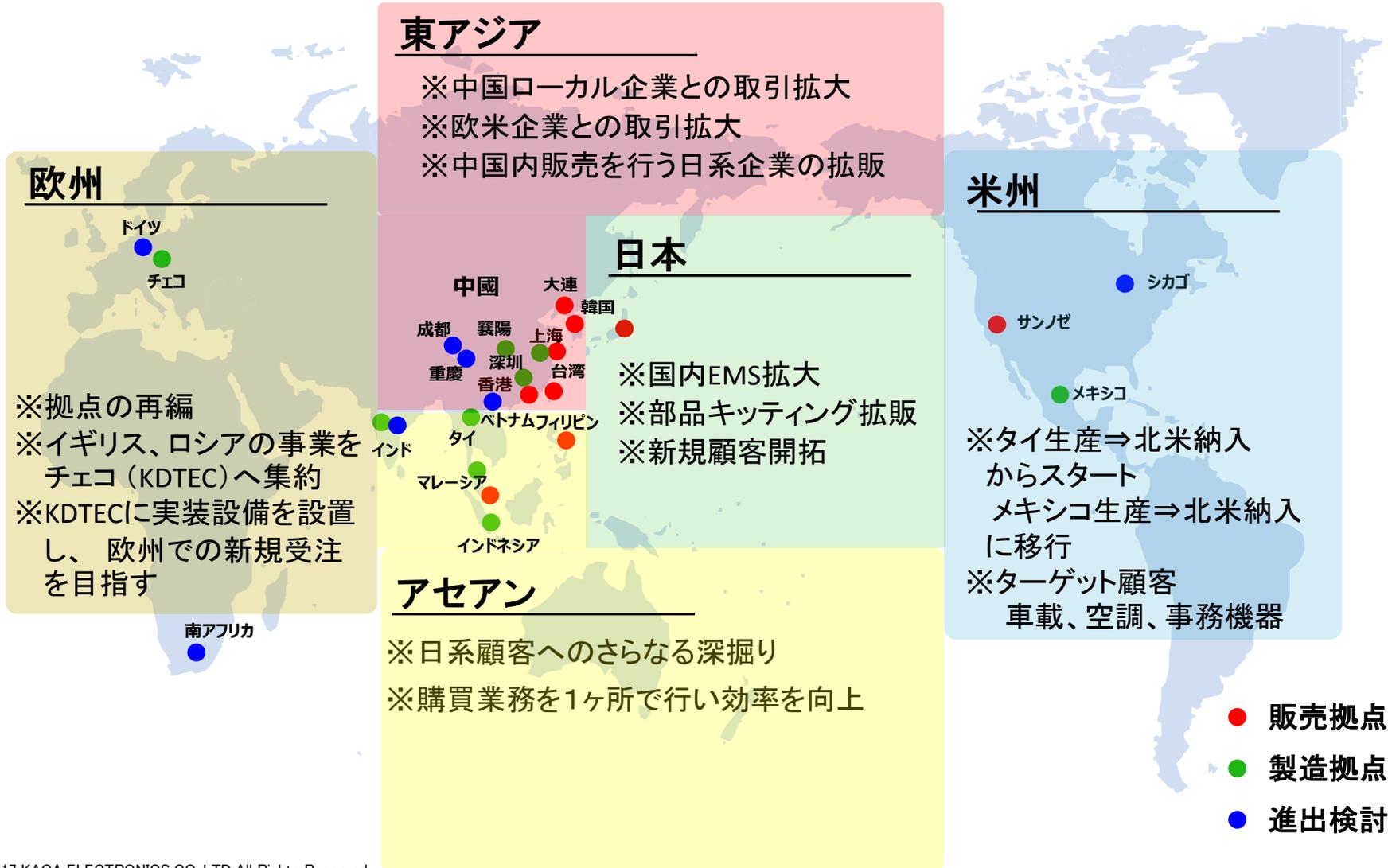


LEDリアランプ



ボディコントロールモジュール

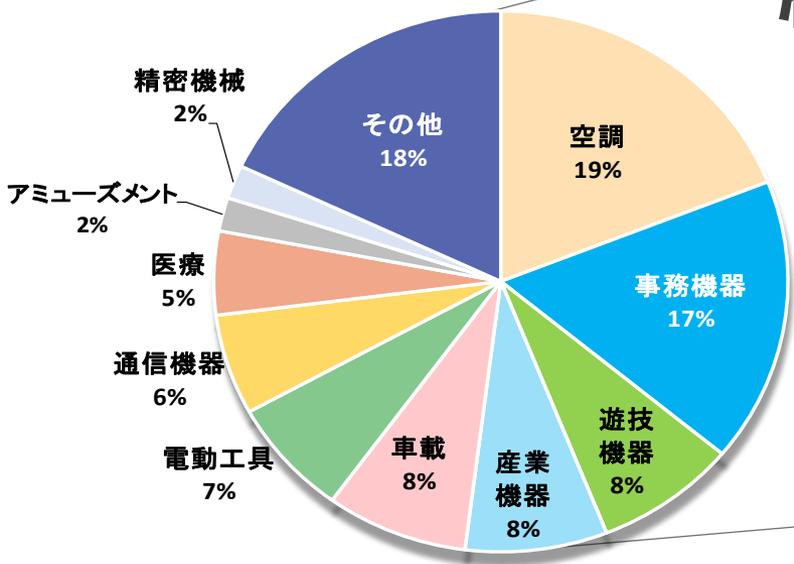
グローバル拠点展開



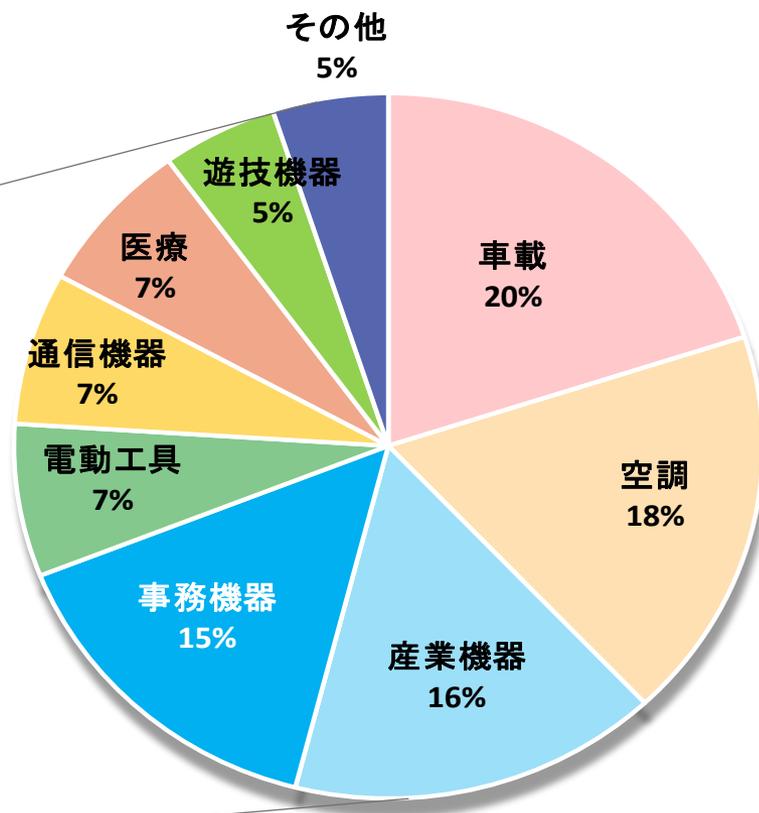
グループEMSビジネス売上目標

5年後イメージ

現在
(2017年3月期実績)



約2倍



収益性と売上成長力の同時強化に向けたEMSビジネスへの取り組み

■ 海外におけるEMS拡大に注力

- ✓ 車載、空調、産業機器、事務機器、医療、電動工具分野へ注力

■ 海外の現地顧客のさらなる開拓

■ 拠点拡充(EMSのコンビニ化)

- ✓ ①中国内陸部への販路拡大 ②アセアン地域における生産増強
③メキシコから北米へ進出 ④欧州地域の現地顧客への販路拡大



今後の計画

■ 2017年度

- ✓ ベトナムに製造拠点設置
- ✓ インドに製造拠点設置を検討

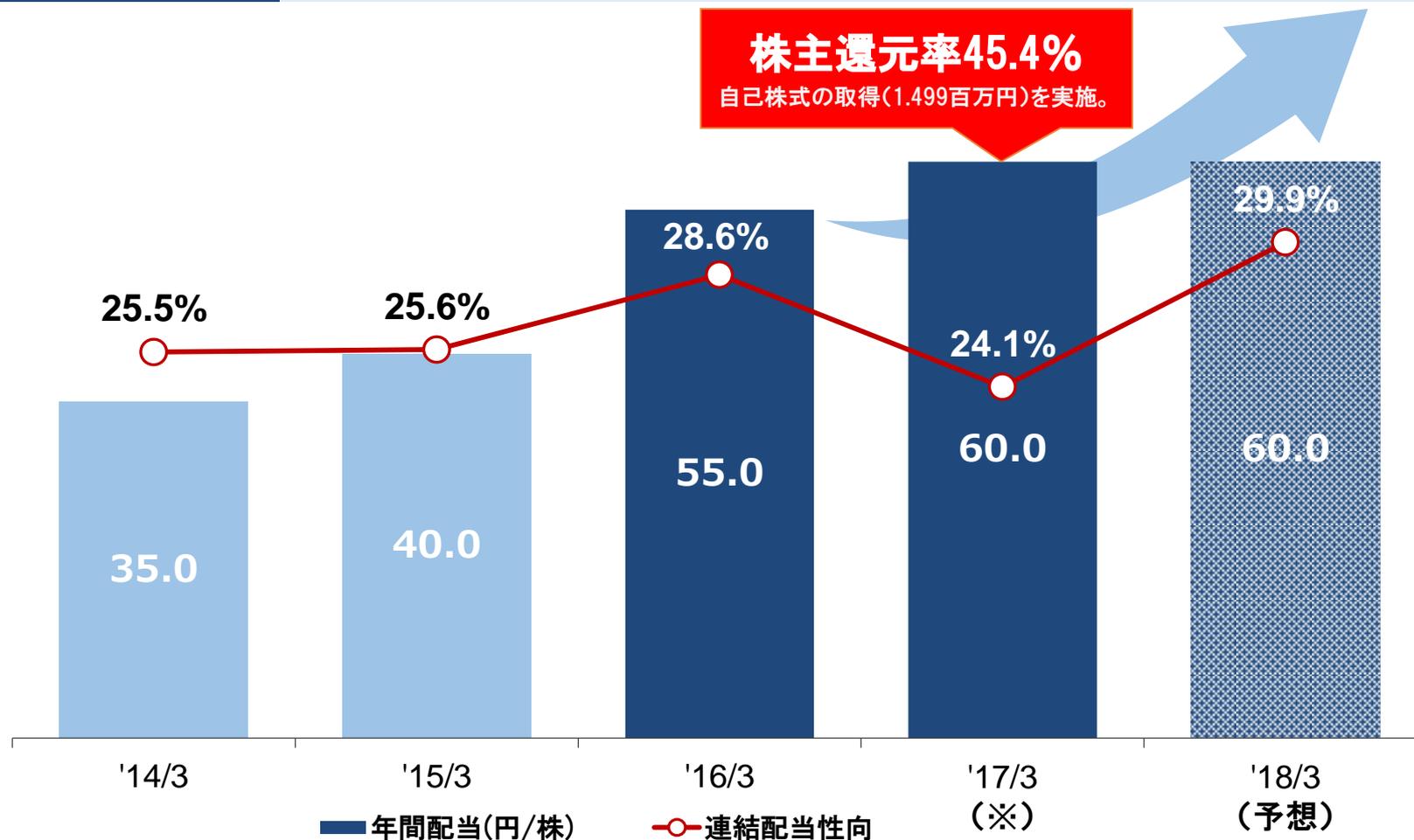
■ 2018年度以降

- ✓ 中国西部地区(重慶、成都)へ進出を検討
- ✓ ドイツへ進出を検討
- ✓ 南アフリカへ進出を検討

株主還元計画：配当金の推移

利益配分に関する 基本方針

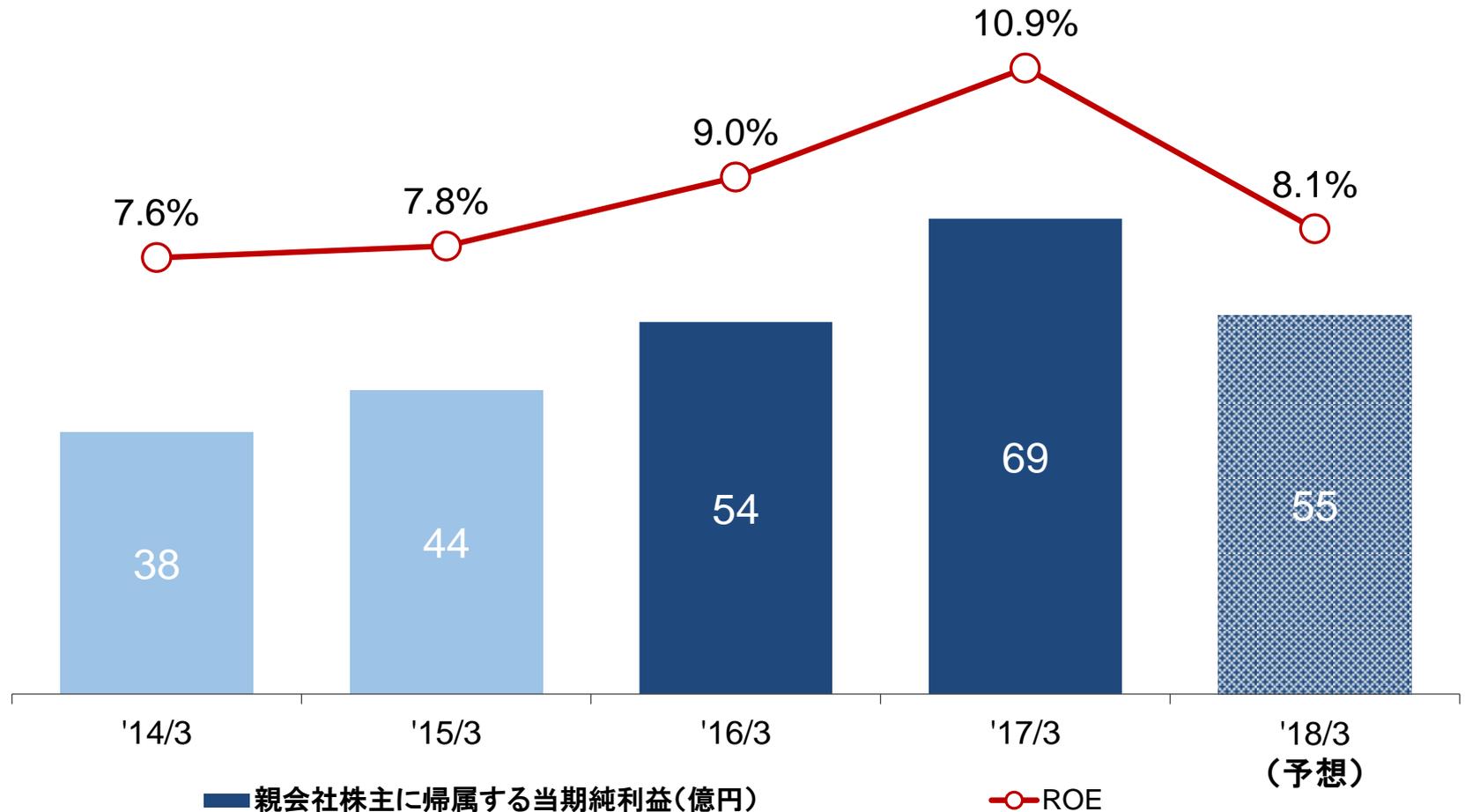
- 連結配当性向25～35%を確保しつつ安定的な配当の実施を目標とする。
- 自己株式の取得は市場環境、資本効率等を鑑みながら、適宜検討。
- 内部留保は企業価値向上に資する事業投資、設備投資、M&Aに活用。



(※)1株当たり35円の期末配当金を第49回定時株主総会に付議する予定(→年間配当金:1株当たり60円)。

ROEの推移

17/3期は**10.9%**に上昇、18/3期も**8%以上**の安定確保が可能



ベンチャー投資活動に関するお知らせ

設立50期を迎える今期より**総額50億円**を**約3年間**かけて
ベンチャー企業・事業への投資活動を実施

■ 背景

当社は、成長力の源泉として多数のベンチャー投資を行い協業を積み重ねてきましたが、近年、先端技術を有するベンチャー企業との協業を目的とした投資は重要性を増しています。

■ 目的

当社のグローバルな企業ネットワークとベンチャー企業のユニークな発想力や高い技術力とを組み合わせ、新たなイノベーションを創出し、当社グループの持続的成長を図ります。

※本件につきましては、当社ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.taxan.co.jp/jp/news>

『すべてはお客様のために』



〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

問合せ先: 秘書・広報室

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail: webmaster@taxan.co.jp

<http://www.taxan.co.jp>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。